

尼崎市環境基本計画及び尼崎市生物多様性地域戦略(素案)に対する パブリックコメント募集結果

2人の方から、9件の意見をいただきました。
寄せられたご意見の概要とそれに対する市の考え方は以下のとおりです。

No.	寄せられたご意見の概要	件数	市の考え方
脱炭素社会			
1	太陽光発電設備で発電された電気を直接、電力系統に流せば、蓄電池やエネルギーマネジメントシステムは不要である。	1	【その他】 太陽光で発電された電気を無駄なく使用するためには、屋間に発電された電気を蓄電池に蓄え、夜間に使用するほか、エネルギーマネジメントシステムで電気使用量の可視化などを行うことが有効であると考えています。
2	カーポートや大型店舗などに太陽光発電設備を導入すればよい。	1	【すでに盛り込み済み】 太陽光発電設備については、カーポートや大型店舗などに限らず、様々な機会を捉え、引き続き導入を推進していくこととしています。
3	自転車に関する施策は特に必要ない。交通量も多く、市内の移動であればバスや原動機付自転車(以下「原付」という。)でよい。	1	【その他】 自転車はバスや原付とは異なり移動時に二酸化炭素を排出しません。そのため、運輸部門からの二酸化炭素排出量を削減するための対策の1つとして自転車の利用環境の向上に取り組んでいくこととしています。
4	地球温暖化対策にはしっかりと取り組む必要がある。公園樹・街路樹が伐採されることが増えているが、ヒートアイランド現象の抑制、日陰の提供などの効果もあるため、緑の空間を増やしてもらいたい。	1	【すでに盛り込み済み】 樹木によるヒートアイランド現象の緩和や緑陰の形成などが地球温暖化対策(適応策)としての効果もあることから、公園・街路樹の緑を適切に保全・維持管理していくこととしています。
循環型社会			
5	ごみの「適正処理の更なる推進」には大いに取り組むべきである。分別されずに排出されている事業者のごみ袋を見かけることが多く、事業系ごみも家庭ごみと同様に分別・資源化を徹底すべきと思う。	1	【すでに盛り込み済み】 事業者が事業系廃棄物を廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び尼崎市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例に基づき、適正に分別し、また再資源化に努めるよう、立入検査などの取組を継続して進めてまいります。
自然共生社会			
6	「生物の生息・生育に配慮した身近な自然や緑地・水辺の維持管理」はぜひ進めてもらいたい。市内にはコンクリート三面張りの水路が多いが、可能な箇所には土に戻したり、側溝に生物が落下した際に這い出せるような構造にするなど生物が生息しやすい環境にしてもらいたい。	1	【その他】 水路については、治水・利水や周辺の生活環境や安全性等に配慮したうえで、生物の生息・生育状況などを踏まえながら維持管理に努めてまいります。
7	猪名川自然林は再生実験ではなく、必要な樹木を残して整理してもらいたい。	1	【その他】 猪名川自然林は、本市に古くから存在していた河畔林の特徴を有する樹林であるだけでなく、兵庫県レッドリストにも掲載されている植物群落であり、貴重なものであるとされており。そのため、引き続き、保全していきたいと考えています。 また、みどりのまちづくり計画では、猪名川自然林については特別緑地保全地区への指定についても検討することとしています。

No.	寄せられたご意見の概要	件数	市の考え方
8	小田南公園への阪神タイガースファーム施設の誘致や大物公園の公園整備に伴う樹木伐採など、人やお金を呼び込むための整備が増えていると感じる。今でも人のための空間や施設は十分にあるので、生物や環境を第一に考えた公園整備をすべきだと思う。	1	【すでに盛り込み済み】 まとまった緑のある緑地や河川については尼崎市みどりのまちづくり計画(緑の基本計画)とも連携を図りながら、周辺的生活環境に配慮したうえで、生物の生息・生育環境として質を高めていくこととしています。
9	街路樹のうち、ヤマモモなど実が落ちて掃除が必要な樹種が伐採されることがあるが、これらを利用する鳥類や昆虫類のことを考える必要がある。また、倒木の危険性などがあり樹木を伐採する際には、地域に昔からあった樹種で鳥類や昆虫類などが利用できるものを植えてもらいたい。	1	【すでに盛り込み済み】 現在、樹木の空洞化や腐食による倒木の危険性のある街路樹については伐採を行っておりますが、実が落ちる、掃除が大変といった理由のみで伐採は行っておりません。また、緑化を行う際には、生態系に悪影響を及ぼす外来種などを用いないように配慮するほか、在来種の活用についても検討していくこととしています。